

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【公表番号】特表 2001-511689(P2001-511689A)

【公表日】平成 13 年 8 月 14 日 (2001.8.14)

【出願番号】特願 平 10-536598

【国際特許分類第 7 版】

A 4 7 L 25/00

【F I】

A 4 7 L 25/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 14 日 (2004.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年6月 14 日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第536598号

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通りに補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

方 式 査 査



1 通



請求の範囲

1. 糸くず除去装置であって、

ハンドル部分（32）およびテープ受容部分（34）を備え、該ハンドル部分（32）が自由端部（36）および接続端部（38）を有し、該テープ受容部分（34）が自由端部（42）および接続端部（44）を有し、該ハンドル部分の該接続端部（38）が該テープ受容部分の該接続端部（44）に接続されてなるアプリケーション（30）と、

前記アプリケーション（30）の前記テープ受容部分（34）に取り付けられ、第1面（18）および第2面（20）を有する基材層（14）、並びに該基材層（14）の該第1面（18）上に形成される接着剤層（16）を備えるテープ（12）のライナレスコアレスロール（10）とを具備し、

前記アプリケーション（30）の前記テープ受容部分（34）は、円筒状のテープ受容面（46）と、前記ハンドル部分（32）に隣接して該テープ受容面（46）から半径方向に延出する内側リップ（48）と、前記自由端部（42）に隣接して該テープ受容面（46）から半径方向に延出する外側リップ（50）とを具備し、該外側リップ（50）が、該テープ受容部分（34）の該自由端部（42）に向いた側でテーパ状（52）になっており、

前記テープ（12）は、該テープをそれ自体のみの上に巻くことにより、接着面を外側に向けた複数巻きのロール（10）に形成され、該ロール（10）の形成に際して該テープ（12）が、支持材料を不要にする十分な堅さと自立性とを有するとともに、最後の巻きを含む該ロール（10）の全体が、該テープ（12）を無駄にすることなく所期の糸くず除去の目的のために完全に使用され得るようになっており、

前記テープ（12）の前記ライナレスコアレスロール（10）は、延伸可能であって、前記外側リップ（50）の上で引き伸ばすことができ、該ロール（10）が該外側リップ（50）を乗り越えて移動した後に、該ロールは前記テープ受容面（46）の適所に係止され、該テープは、前記テープ受容部分（34）内で復元して該ロール（10）の据え付けを可能にする一方で、該外側リップ（50）を反対側へ摺動式に乗り越えて取り外すことができないようになっている、

糸くず除去装置。

2. 前記テープ(12)に穿孔(26)が設けられ、該テープ(12)の外側の巻きを除去できるようになっている、請求項1に記載の糸くず除去装置。